

令和4年度授業改善推進プラン【3年生】

| 教科 | 現状の課題 | 具体的な改善のための方策 |
|----|--|---|
| 国語 | <p>△自分が書きたいことを文章で正確に表現したり、文章から物事を理解したりすることが苦手な児童が多い。</p> <p>△すすんで読書をする児童と、ほとんど本を読まない児童との差がある。</p> <p>△漢字の定着に差がある。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・日常的に辞書の活用を行うことで、語彙力を増やしたり、言葉への関心を高めたりする。 ・図書時間に本の紹介をしたり、ビブリオバトルを取り入れたりして、読書への意欲を高め、活字やささまざまな文章表現にふれる機会を増やす。 ・同じ内容の小テストを2回行うなどして、漢字の定着を図る。 |
| 社会 | <p>△資料から情報を正しく取り出したり、取り出した情報を比較・関連付けたりすることが難しい児童がいる。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・複数の資料を提示し、情報を取り出したり、比較・関連付けたりする場面を授業の中に意図的に設ける。 ・児童に、それぞれの資料を見て「どのような情報が取り出せたか」「何と何がどのように似ているか、どのように違うか」を発表させるとともに、そのように資料から読み取ったポイントを説明させた上で、ICT 機器で拡大提示して確認するなど、資料をもとに考えさせる工夫をする。 |
| 算数 | <p>△問題把握をする場面で、問題の意味を理解することに時間がかかる児童がいる。</p> <p>△四則計算や時刻と時間の学習など、得意としている児童と苦手としている児童の差が大きい。</p> <p>△計算の仕方は分かるが、文章から計算の方法や立式の方法、図に表して説明することが難しい児童がいる。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・算数学習の基礎となる生活体験、算数体験を意図的に取り入れる。 ・既習事項を使って問題を解決する習慣が付くように指導する。 ・基礎、基本の定着を図るために、家庭学習を活用して（タブレット端末の活用含む）算数の計算問題に取り組みさせる。 ・文章問題の重要な表現に線をひく、マークをつける習慣をつくる。 |
| 理科 | <p>△観察カードに分かったこと等を書けるようになってきたが、そこから予想したり、考えたりしたことを書くのはまだ難しい。</p> <p>△理科の学習に対して興味をもって取り組んでいるが、さらに主体的に取り組み、思考を深めていこうという児童が少ない。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・観察の視点や、文章へ記述する内容をあらかじめ示し、何を観察するのかを明確にした記録ができるようにしていく。 ・児童が主体的に活動できるよう、教員が目的意識や課題意識をもって、意図的に自然の事物・事象に働き掛ける活動を充実させる。 |
| 音楽 | <p>△リコーダーの運指やタンギング等の技能定着をはかるのに時間がかかる児童がいる。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な奏法や音符のきまりを身に付け、技能の習得のために継続的な取り組みで定着を図るようにする。また、ピックパットを活用し、視覚的にも理解しやすいように工夫する。 |
| 図工 | <p>△材料からイメージを広げて、自分で考えて表現することに課題がある。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・造形あそびの題材で、自分から材料から関わり材料に慣れる機会を増やす。 ・材料の工夫の仕方を試す活動から、工夫を友達と共有して材料への理解を深めさせるステップを設けることで、自分で考え工夫できるようにする。 |
| 体育 | <p>△互いにアドバイスをする経験が少なく、助言をすることが難しい児童が多い。</p> <p>△自分のめあてをもち、自分のめあてを達成するために活動しようという意欲が乏しい。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ポイントやコツをまとめた資料をカードに掲載し、助言に役立てられるようにする。 ・体育カードを活用して振り返りを行い、次時へのめあてにつなげられるようにする。 ・活動を行う前に、動画を活用して、できるポイントを確認させる。 |